



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東
 コード番号 3640 URL <https://www.ndensan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 丸山 沢水 TEL 026-224-6666
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,029	—	△117	—	△121	—	△114	—
2019年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △114百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△20.59	—
2019年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2019年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第3四半期の数値及び対前期増減率は記載しておりません。

2. 2020年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	18,418	7,148	38.7	1,279.64
2019年3月期	19,400	7,435	38.2	1,333.57

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,130百万円 2019年3月期 7,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2020年3月期	—	17.00	—		
2020年3月期（予想）				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900	5.8	339	—	361	—	251	—	45.16

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正有無： 無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2019年3月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	5,837,200株	2019年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	264,632株	2019年3月期	278,732株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	5,565,998株	2019年3月期3Q	5,552,312株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心に弱さが増しているものの、高水準の企業収益、雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しに加え、設備投資の増加などもあり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。先行きにつきましては、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税引き上げ後の消費者マインド動向に留意する必要があるものの、雇用・所得環境の改善が続く中で各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されます。

情報サービス産業におきましては、全産業におけるソフトウェア投資は、緩やかに増加しており、先行きについても、企業マインドが投資に与える影響に留意する必要があるものの、高水準の企業収益や成長分野への対応等を背景に、緩やかな増加が期待されます。

このような状況のもとで、当社グループは、市区町村向けの総合行政情報システムをはじめとする基幹系システム並びに財務会計等の個別業務システムの新規顧客獲得とリプレイス、また、リース業向けのリース業務パッケージ、医療福祉機関向けの病院情報関連システム、流通業向けの販売管理システム等の新規顧客獲得とリプレイス、合わせてデータセンターサービスの受注活動に注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、公共分野での、各種制度改正対応、基幹系システムの導入、また産業分野でのリース業務パッケージ及び介護支援システムの導入、機器販売等により売上を確保しました。しかしながら、利益につきましては、ソフトウェア償却費の増加、システムの導入に向けた作業等による売上原価の増加により、営業損失となりました。また、当第3四半期連結累計期間に一時的に生じた繰越欠損金は回収可能と判断し繰延税金資産を計上したことにより、法人税等調整額においてマイナス15百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,029百万円、営業損失は117百万円、経常損失は121百万円及び親会社株主に帰属する四半期純損失は114百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

<公共分野>

定例業務である住民税・国民健康保険・介護保険・固定資産税等の受託処理及び総合行政情報システム等のシステム保守のほか、幼児教育の無償化・プレミアム付商品券・児童扶養手当等の制度改正対応、自治体情報セキュリティクラウドの運用、基幹系及び情報系システムのリプレイス等により売上を確保したものの、新総合行政情報システムのソフトウェア償却費や保守等により売上原価が増加し、営業損失となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,972百万円、営業損失は3百万円となりました。

<産業分野>

定例業務である口座振替、給与計算等の受託計算処理、インターネット接続サービス、リース業務パッケージ保守及び民間企業向けデータセンターサービス提供のほか、リース業務パッケージ・介護支援システム・販売管理システム・生産管理システムの導入、機器販売等で売上を確保したものの、一部のシステム導入案件において売上原価が増加し、営業損失となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,056百万円、営業損失は125百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して982百万円減少し、18,418百万円となりました。これは主に、現金及び預金が658百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,608百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比較して696百万円減少し、11,269百万円となりました。これは主に、短期借入金が740百万円増加したものの、買掛金が668百万円、賞与引当金が347百万円、長期借入金が263百万円及び1年内返済予定の長期借入金が162百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して286百万円減少し、7,148百万円となりました。これは主に、期末配当及び中間配当により194百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失により114百万円減少したことによるものです。

なお、自己資本比率は、38.7%（前連結会計年度末38.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上については順調に推移しております。利益についても産業分野における一部のシステム導入案件においては売上原価が増加したものの、概ね順調に推移しております。

今後の見通しについては、不確定要素が多いことから、2019年5月15日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	577,125	1,235,539
受取手形及び売掛金	4,632,959	3,024,073
リース投資資産	1,826,621	1,917,718
商品	195,568	498,577
仕掛品	117,034	299,140
原材料及び貯蔵品	32,601	30,409
その他	520,092	427,995
貸倒引当金	△325	△193
流動資産合計	7,901,676	7,433,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,488,845	4,333,213
その他(純額)	2,264,791	2,187,536
有形固定資産合計	6,753,636	6,520,750
無形固定資産		
ソフトウェア	3,069,514	2,798,865
その他	192,665	169,306
無形固定資産合計	3,262,179	2,968,172
投資その他の資産		
その他	1,494,352	1,507,436
貸倒引当金	△10,848	△10,905
投資その他の資産合計	1,483,503	1,496,531
固定資産合計	11,499,319	10,985,454
資産合計	19,400,996	18,418,715

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,437,492	768,878
短期借入金	2,932,000	3,672,000
1年内返済予定の長期借入金	550,236	387,516
未払法人税等	24,626	26,996
賞与引当金	686,534	338,810
製品保証引当金	5,691	5,504
受注損失引当金	125,846	144,908
その他	1,554,268	1,505,243
流動負債合計	7,316,695	6,849,857
固定負債		
長期借入金	1,756,672	1,492,675
退職給付に係る負債	1,416,983	1,434,340
その他	1,475,547	1,492,940
固定負債合計	4,649,202	4,419,956
負債合計	11,965,897	11,269,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,091,357	1,088,102
利益剰余金	5,597,298	5,287,886
自己株式	△610,427	△579,548
株主資本合計	7,473,710	7,191,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,541	7,564
退職給付に係る調整累計額	△65,666	△68,596
その他の包括利益累計額合計	△61,124	△61,031
新株予約権	22,512	18,010
純資産合計	7,435,098	7,148,900
負債純資産合計	19,400,996	18,418,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	10,029,529
売上原価	7,517,093
売上総利益	2,512,436
販売費及び一般管理費	2,630,306
営業損失(△)	△117,870
営業外収益	
受取利息	47
受取配当金	7,631
その他	3,733
営業外収益合計	11,412
営業外費用	
支払利息	13,491
その他	1,719
営業外費用合計	15,211
経常損失(△)	△121,669
税金等調整前四半期純損失(△)	△121,669
法人税、住民税及び事業税	8,520
法人税等調整額	△15,564
法人税等合計	△7,043
四半期純損失(△)	△114,625
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△114,625

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△114,625
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3,022
退職給付に係る調整額	△2,929
その他の包括利益合計	92
四半期包括利益	△114,533
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△114,533
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。